

バスケットボール指導者のみなさまへ

(一社) 福井県バスケットボール協会会長の山岸俊一です。

日頃はバスケットボール競技の普及・発展のためにご尽力賜り感謝申し上げます。指導者のみなさまには、子どもたちのバスケットボール競技の技能向上を目指すだけでなく、バスケットボール競技を通して「人」としての成長に大いに貢献していただいているものと承知しております。

ところが昨年度(7年度)、小学・中学・高校世代のチームにおいて、選手に対する指導者の不適切な指導(体罰、暴言、セクハラなど)の事案が発生しました。当協会としてはこの状況を重く受け止めています。

バスケットボール競技に一所懸命取り組む子どもたちの心を砕くような指導は、決してあってはならないことです。「熱心さのあまりに……」は許されないものです。近年、「子どもの権利」が重視されています。指導者のみなさまには「子どもといえども一人の人間であり、「人」として尊重されるべき存在である」ことを念頭に置いてご指導いただくことを切に願います。

NBAで挑戦を続けている河村勇樹選手がインタビューで「バスケットを辞めても生きていける。だけど、より豊かな人生を送るためにバスケットを続ける」と答えています。子どもたちがバスケットボール競技を通して「より豊か」な人生を送ることができるよう、子どもたちの心に寄り添った指導をよろしくお願い申し上げます。

令和8年4月9日

(一社) 福井県バスケットボール協会

会長 山岸 俊一